

技術コンテスト予選会後に開催されて大好評

得点ポイント解説&練習会

今年より、各地区、各日のキーパー技術コンテスト後に「ポイント練習会」を開催。採点表の38項目のうち、自分で思っているような点数が取れなかった原因を、施工動作をチェックして探り、改善、解決を行います。次戦、次回のポイントアップと技術の向上に必ず役立ちます。「ポイント練習会」で多かった質問と解決策を紹介します。

Q1「爆ツヤを隙間なく塗って きちんと下処理をしたつもりなのに4点でした…」

A1「2工程目で隙間ができています。 縦の動きは上から下までを意識して動かしましょう」

浮いた汚れを崩す2工程目の縦の動きでは、ついに下に意識がいきまがち。上がおろそかにならないようにしましょう。



Q2「完璧に塗ったつもりが7点満点でなく4点…。なぜ？」

A2「角に塗り漏れがあります。手元から目を離さずに施工しましょう」

つい、先を見ながらスポンジを動かしてしまうと、スポンジが通ったところが分からないまま施工が終わってしまいます。これでは問題に気付けません。意識して手元を見ることで、塗り漏れを確認することができます。



Q3「レジンの手数の採点で4点が付いたのですが、なぜですか？」

A3「強い力でゴシゴシ拭いているようです。1回で拭き切るイメージではなく、面を変えて常に新しいところで拭いてください。良く手元も見てください」

レジン2は、常に新しい面に換えながら4回拭くと、軽く拭ききることができます。新しいクロスで拭くととても効果的です。クロスが古いと面を換えながら拭いても拭ききれず、何度もゴシゴシする羽目になり、クセが付いてしまいます。

Q4「時間が基準をオーバーしました。どこが遅いのですか？」

A4「塗装にさわられていない時間が長いですね。しぼりの動きに無駄がありそうです」

ノーステップ・ノールックで絞ってみてください。また移動式ワゴンが遠いです。足を動かさずに道具を取れる位置に置いてください。はじめは違和感があるかもしれませんが、慣れると入替えしやすくなります。

Q5「確認に時間をかけたのに拭き残しの指摘を受けました。 良い方法はありませんか？」

A5「チェックボードの角度に問題があります。ドア上部よりも チェックボードの角度を広げて下回りに潜らせてください。 窓ガラスは、固絞りのキーパークロスでキチンと拭きましょう」

サイドガラスはプライベートガラスが多く、黒色です。黒は透かすと拭き残しが見えなくなりますので、同じ目線の高さで正面から見てください。



《キーパー技術コンテスト採点表》

チェック項目	品質を確保できる正確さ						
	特	優	良	可	不可	残念	
1 爆ツヤのケミカル特性を理解している。 ケミカルの量はスポンジに太線1本、塗り広げの面積、時間差の目的を理解している。			4	3	2	1	
2 細かい部分も施工し、かつ、隙間にケミカルを入れないようにしている。 ゴム部、樹脂部、ガラス面に付かないよう注意。ボンネット、ドアノブなどの隙間に入れない。			4	3	2	1	
3 キッチンと下処理作業が出来ている。 隙間なく爆ツヤを塗り広げている。力加減は適正。	7	5	4	3	2	1	
4 爆ツヤ後の水かけ(泡かけ前の洗浄)は、必要以上に行っていない。 隙間のケミカルは、キッチンと洗い流しされている。ホースや脚立を車に当てない。			3	2	1		
5 コーティング作業に入る前に、道具を準備出来ている。 ワゴン、水スプレー、スポンジ、クロス、ケミカル、フロント窓ガラスにタオルを準備			2	1			
6 濡れたボディにガラスコーティングを施工している。 乾きそうなのは水スプレーを使用し、濡らしながら作業している。			2	1			
7 ケミカル量は適正。 スポンジの端から端まで、適正なケミカル量を塗布している。			3	2	1		
8 細かい部分まで濡れなく施工している。(ドアノブやミラーなども) ゴム部、樹脂部、ガラス面に付かないよう注意して作業している。			4	3	2	1	
9 硬しぼりのクロスと乾いたクロスを使い分けている。 無駄な拭き上げ作業がなく、一発で拭き、キッチンと仕上がっている。			5	4	3	2	1
10 被膜をはる→被膜を定着させる→拭き上げ スムーズな施工が出来ている。			5	4	3	2	1
11 スポンジの使い方、押さえ方は正しい。力加減は適正。 スポンジの幅を有効に使う。握らない、包まない、つかまない。			5	4	3	2	1
12 塗り漏れがなくコーティングの施工が出来ている。 ズンからはみ出さないようにし、ワゴンも確実に施工出来ている。	7	5	4	3	2	1	
13 移動式ワゴンは、歩かずにすぐ道具が手に取れる位置で使用されている。 作業に危険がない。(移動式ワゴン、スプレー缶、脚立使用時など)			3	2	1		
14 適正な手数で、コーティング作業を行っている。 (少・荒/多・遅い適正か?)	7	5	4	3	2	1	
15 ガラスコーティング施工から拭き上げまで、基本通りの作業が出来ている。 マニュアルに準じたコーティングの施工、拭き上げ			5	4	3	2	1
16 施工する順番は正しい。 運転席側:ボンネット→屋根→トランク→水減らし→側面半周 助手席側:トランク→屋根→ボンネット→水減らし→側面半周			2	1			
17 エアガンを使って8箇所を処理した。 ドアミラー・バイザー・ドアノブ・グリル・アンテナ・ホイール・ワイパー・給油口			2	1			
18 ステップ拭き・ダッシュボード・灰皿までの作業を実施した。 レジンコーティング前に水が垂れそうな場所を処理出来ている。			2	1			
19 ガラスコーティングの拭き上げ(確認)作業をキッチンで行っている。 何度も同じ箇所を触らずに、まず目で見て確認。必要があれば修正する。			5	4	3	2	1
20 乾いたボディにレジン施工している。 隙間から垂れる水は少量なら問題ない。			2	1			
21 ケミカル量は適正。 スポンジの端から端まで、適正なケミカル量を塗布している。			3	2	1		
22 スポンジの使い方は正しい。力加減は適正。 スポンジの幅を有効に使う。			5	4	3	2	1
23 2枚のレジンクロスを使い分けている。 (クロスの変えながら拭き上げ、途中でレジンクロスを取りかえる。)			5	4	3	2	1
24 塗り漏れがなくコーティングの施工が出来ている。 ズンからはみ出さないようにし、ワゴンも確実に施工出来ている。	7	5	4	3	2	1	
25 移動式ワゴンは、歩かずにすぐ道具が手に取れる位置で使用されている。 作業に危険がない。(移動式ワゴン、スプレー缶、脚立使用時など)			3	2	1		
26 細かい部分まで濡れなく施工している。(ドアノブやミラーなども) ガラス面に付かないよう注意して作業している。			5	4	3	2	1
27 適正な手数で、コーティング作業を行っている。 (少・荒/多・遅い適正か?)	7	5	4	3	2	1	
28 レジン 施工から拭き上げまでが、基本通りの作業が出来ている。 マニュアルに準じたコーティングの施工、拭き上げ	7	5	4	3	2	1	
29 施工する順番は正しい。 運転席側:ボンネット→屋根→トランク→側面半周→タイヤWAX→確認 助手席側:トランク→屋根→ボンネット→側面半周→タイヤWAX→確認			2	1			
30 チェックの仕方は適正。 (触りすぎない、見る角度、距離、チェックボード) & (運転席に座りお客様目線で確認)			5	4	3	2	1
31 道具を大事に使用し、使用した道具類、ケミカル類は片付けられている。 (ラック、スポンジ、ケミカル、クロス、タオル等)			2	1			
作業時間							
基準							
35分未満 37分未満 39分未満 41分未満 45分未満 45分以上							
32 作業は適正か? 競技はMサイズで行う。 基準タイム35分以下 45分で失格	2	1	±0	-1	-2	失格	
品質と印象点							
33 水の残りは無い。 下廻り・バイザー・グリル・ワイパー・通り・ミラー等	7	5	4	3	2	1	
34 コーティングの施工濡れや、拭き残しがない。(お客様目線で確認) ガラス面がキレイになっている。ナンバーの角、ドアノブ、ナンバー、エンブレムの周り等	7	5	4	3	2	1	
35 コーティングの施工濡れや、拭き残しがない。(プロ目線で確認) ガラス面がキレイになっている。ナンバーの角、ドアノブ、ナンバー、エンブレムの周り等	7	5	4	3	2	1	
36 服装 身だしなみが整っている。ユニフォームにケミカル汚れは付いていない。			3	2	1		
37 動きのキレ 動きにキレがあるキビキビした施工、淡々と施工を行い慌てている印象はない。			5	4	3	2	1
38 好感度 キレイにしたい思いが伝わった。車の取り扱いが丁寧、この人に施工してもらいたい。	7	5	4	3	2	1	
合計							
145 点/170点満点							